

荏原病院 クリニカルインディケーター

1 病院全体の指標						
指標項目	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	定義、指標計算方法等	説明コメント	
延べ入院・外来患者数 平均在院日数 病床利用率（運用病床）	129,490 人	125,761 人	122,089 人	延べ入院患者数：退院患者数+当日末在院患者数	1年間の延べ入院患者及び1年間の延べ外来患者の数です。	
	236,859 人	231,991 人	219,727 人	延べ外来患者数：初診患者数+再診患者数		
	14.5 日	13.8 日	13.7 日	平均在院日数：延在院患者数÷(新入院患者数+退院患者数÷2) ※亜急性期病床を除く	1人の患者さんが平均何日間入院しているのかを示す指標です。地域の医療機関と連携などによって、短期間で退院できるよう努めています。	
	(一般) 81.3 % (精神) 88.6 % (感染) 21.4 %	(一般) 79.4 % (精神) 87.4 % (感染) 15.9 %	(一般) 76.5 % (精神) 82.2 % (感染) 30.3 %	病床利用率：延入院患者数÷運用病床数×100 (医療上の区分)	病床利用率とは運用病床数に対し、入院患者がどのくらいの割合で入院していたかを示す指標であり、病床利用率が高いことは、ベッドを効率的に運用していることを表しています。病床の機能により違いがあるため、一般、精神、感染症病床別に率を出しています。	
剖検率	6.0 %	4.1 %	11.9 %	年間剖検数÷年間患者死亡数	当院で死亡された患者さんの中で病理解剖がなされた割合です。病理解剖は死亡の原因や治療の効果を確認、今後の医療に役立てていく意義があります。	
CPC（臨床病理検討会）実施件数	10 回	9 回	11 回	年度内の開催実績数	医療の質向上を図るために行っている、勉強会の一つであるCPC（臨床病理検討会）を開催した件数です。	
クリニカルパス実施状況	35.1 %	37.9 %	41.5 %	実施率：パス適用件数÷新入院患者数	入院から退院までの治療や処置、検査、看護などのスケジュールを時系列に示したクリニカルパスの作成を通じて、わかりやすく均質で無駄のない医療の提供に努めています。	
2 診療科目に関する指標						
指標項目	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	定義、指標計算方法等	説明コメント	
疾病別患者数及び平均在院日数	別紙1 ※期間は4月1日～3月31日までの実績			ICD10の大分類に基づいた疾病別の件数等	世界保健機関（WHO）が設定した、国際的な分類に基づいて、診療科目ごとに取り扱った疾病数です。	
3 手術に関する指標						
指標項目	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	定義、指標計算方法等	説明コメント	
手術の実績	別紙2-1、別紙2-2			年間の手術実績及び診療科別代表手術件数	当院の手術実績及び診療科別の代表的な手術実績です。	
内視鏡検査件数、主な処置件数	①(1) 1,804 (2) 56 (3) 94 (4) 860 ② 543	①(1) 1,687 (2) 64 (3) 63 (4) 883 ② 458	①(1) 1,633 (2) 124 (3) 93 (4) 980 ② 338	①検査数（(1)上部内視鏡、(2)膵臓・胆管系、(3)気管支鏡、(4)下部内視鏡）、②治療数	内視鏡検査と治療の件数です。検査については、①食道、胃などの上部、②膵臓・胆管、③気管支、④大腸などの下部に種類を分けております。	
● 内視鏡手術件数（臓器別、治療法別）	①7 ②2 ③56 ④28 ⑤264 ⑥17 ⑦35 ⑧40	①4 ②1 ③52 ④30 ⑤223 ⑥11 ⑦45 ⑧48	①3 ②0 ③49 ④20 ⑤134 ⑥30 ⑦55 ⑧78	①【食道静脈瘤結紮術(EVL)】 ②【食道静脈瘤硬化療法(EIS)】 ③【胃瘻造設術】 ④【内視鏡的止血術】 ⑤【大腸内視鏡的粘膜切除術(EMR)】 ⑥【大腸ポリポープ切除術】 ⑦【乳頭切開術(EST)】 ⑧【経胆管ドレナージ(ENBD,ERBD)】	消化管内視鏡を使った主な腫瘍切除例や内視鏡を使った止血術施行例などの件数です。	
● 鏡視下手術件数	①31 ②101	①34 ②138	①34 ②196	①胸腔鏡下 ②腹腔鏡下	腹腔鏡、胸腔鏡を使って行う手術の件数です。腹部や胸部に小さな穴を開けて行うので、体にかかる負担が軽く、回復が早いこと、また美容的にも優れているという利点があります。	
4 がん医療に関する指標						
指標項目	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	定義、指標計算方法等	説明コメント	
がん登録統計	別紙3 ※期間は1月1日～12月31日までの実績			「院内がん登録」による登録件数及び東京都がん診療連携協力病院における部位別（肺がん、胃がん、大腸がん、肝がん、乳がん、前立腺がん）の登録数、ステージ別件数及び治療方法別件数	当院で行っている「院内がん登録」の登録実績です。当院を含め公社病院全体でがん医療に力を入れて取り組んでいます。	
外来化学療法件数	1,324 件	1,423 件	1,602 件	外来で化学療法を実施した件数(外来化学療法加算)	抗がん剤を使用した化学療法の件数です。外来での治療は自宅での生活を続けながら治療を行うことができるため、精神的、経済的な負担低減にも寄与します。	
放射線治療件数、症例数	2,197 件数 件 106 症例数 件	2,435 件数 件 124 症例数 件	2,927件数 件 124症例数 件	放射線治療件数、症例数 高エネルギーX線装置による通常の照射とIMRTの1回目の放射線管理料を取得した数、及び定位の患者数。（小線源治療は除く）	放射線は手術、抗がん剤とともにがん治療における重要な役割を果たしています。リニアック等の放射線治療装置を使用して、放射線治療を行った件数及び症例数です。	
● キャンサーボード活動実績	/		19 回 30 件	13 回 27 件	実施回数、症例検討数	がん患者さんの症状・状態・治療方針等について複数診療科・多職種が一同に会して意見を交換し、包括的に話し合った実績です。
● 緩和ケアチーム活動実績			10 回 16 件	11 回 8 件	緩和ケアチームカンファレンス実施回数・症例検討数	主にがん患者と家族に対して緩和ケアを提供するために、身体・精神面の症状緩和、家族ケア、療養場所の選択など多職種チームでカンファレンスを実施した実績です。

荏原病院 クリニカルインディケーター

5 救急医療の指標					
指標項目	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	定義、指標計算方法等	説明コメント
救急患者数（1日あたり）	55.0 人	54.7 人	54.7 人	(救急入院患者数+救急外来患者数)÷年間営業日数	救急医療は当院の重点医療のひとつであり、休日・全夜間診察事業を引き続き実施するなどし、積極的な患者受入に努めています。
救急搬送受入件数	3,074 人	3,133 人	3,289 人	救急患者のうち、来院方法が「救急車」の患者数	
6 放射線及び検査に関する指標					
指標項目	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	定義、指標計算方法等	説明コメント
緊急対応可能検査項目数及び緊急対応可能検査項目数の割合	検体：61/156 個 39.1% 生理：8/26 個 30.8%	検体：62/156 個 39.7% 生理：8/26 個 30.8%	検体：62/156 個 39.7% 生理：8/26 個 30.8%	院内で実施する検体検査で検査科受付後60分以内の報告、および生理検査で当日報告の可能な緊急対応可能検査項目数とその割合（緊急対応可能検査項目数÷全体検査項目数×100）	院内で実施する検査のうち、救急患者や入院患者の急変などに対応し、院内で緊急に行える検査がどのくらいあるかを表しています。
緊急検査のTAT（ターンアラウンドタイム）	27分53秒 分:秒	29分07秒 分:秒	27分31秒 分:秒	病院で実施する生化学検査における、緊急検査依頼の検査科受付から報告確定までの平均時間	TAT（ターンアラウンドタイム）とは検体が検査科に来てから検査結果が確定するまでの時間のことです。検査結果を迅速に報告することで、医師が治療方針を早期に決定することができ、医療の質向上に寄与します。
CT、MRI、血管造影、マンモグラフィの検査人数	CT 12,314 人 MRI 10,877 人 血管造影 273 人 マンモ 1,446 人	CT 12,768 人 MRI 10,907 人 血管造影 262 人 マンモ 1,695 人	CT 12,932 人 MRI 10,710 人 血管造影 310 人 マンモ 1,601 人	CT、MRI、血管造影、マンモグラフィの検査患者数	検査の中でも件数の多い、CT、MRI、血管造影、マンモグラフィそれぞれの検査患者数です。
臨床検査に係る精度管理調査評価評点	日本医師会 99.5 点	日本医師会 98.4 点	日本医師会 96.9 点 日臨技 99.6 %	外部精度管理における日本医師会臨床検査精度管理調査の結果（評価項目修正点数）、日本臨床検査技師会精度管理調査の結果（AB評価%）	日本医師会は、総タンパク、ブドウ糖、尿酸など検体検査40以上の検査項目について、サーベイを実施した結果の項目修正点数（100点満点）です。日臨技は、検体検査、微生物、輸血、生理、病理、細胞など180以上の評価項目について、サーベイを実施した結果の望ましいとされる評価A、評価Bの件数の割合です。
放射線科医師による読影レポート数	58,383 件	58,525 件	56,489 件	放射線科医師によって作成された、CT、MRI等検査にかかる読影レポート数	放射線科の医師による専門の見地から、検査結果に基づいた画像診断・助言を行っている件数です。
ME機器点検実施件数	2,099 件	2,197 件	1,893 件	ME機器（医療機器）の日常点検、定期点検の件数（臨床工学技士実施分）	ME機器の使用時の故障を未然に防ぎ、検査の安全性を保つために、使用前や使用後及び一定の期間毎に行っている点検の件数です。
7 薬剤に関する指標					
指標項目	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	定義、指標計算方法等	説明コメント
服薬指導件数（入院・外来）	入院 8,869 件 外来 7,315 件	入院 7,697 件 外来 7,302 件	入院 9,776 件 外来 5,516 件	(入院) 入院服薬指導業務指導件数 (外来) 外来服薬指導業務指導件数	患者さんへの薬物療法の効果や副作用などの説明・アドバイスを通じて、患者さんの薬物療法への理解を深めるとともに、より安全で効果的な薬物療法を受けられるよう薬剤師が活動した件数です。
ジェネリック使用率		40.4 %	49.0 %	「後発医薬品の数量」÷（「後発医薬品のある先発医薬品の数量」+「後発医薬品の数量」） ※数量とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。	当院における入院医療で使用される全薬剤のうちジェネリック（後発医薬品）の割合です。ジェネリックは開発コストが大幅に削減されているため、先発医薬品に比べると安価になるなどの特徴があります。
薬剤師による抗がん剤等のミキシング数（処方箋枚数）	1,565 件 うち入院 773 件 うち外来 792 件	1,583 件 うち入院 851 件 うち外来 732 件	1,569 件 うち入院 801 件 うち外来 768 件	抗がん剤ミキシング件数	薬剤師が安全キャビネットなどを使用して、抗がん剤のミキシングを行った処方箋枚数です。
8 栄養に関する指標					
指標項目	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	定義、指標計算方法等	説明コメント
栄養指導件数（個別・集団）	個別 2,709 件 集団 224回 1,453 人	個別 3,138 件 集団 228回 1,532 人	個別 3,286 件 集団 236回 1,498 人	個別栄養食事指導件数、集団栄養食事指導回数及び人数	患者さんに対して、医師の指示により管理栄養士が食事療法について説明し、食生活改善の支援を行っています。個人の生活スタイルに合わせた個別指導と教室形式で行う集団指導があります。
栄養サポートチーム（NST）活動件数	回診回数 48 回 延べ人数 267 人	回診回数 50 回 延べ人数 274 人	回診回数 51 回 延べ人数 237 人	栄養サポートチーム（NST）回診回数・回診延べ人数	栄養サポートチーム（NST）とは栄養管理を管理栄養士、医師、看護師など様々な医療スタッフによって支援・実施するチーム医療のことです。定期的にメンバーによる回診等を行い、患者さんの状況を確認して適切な栄養療法を検討しています。
お楽しみ食提供回数	39 回	39 回	39 回	お楽しみ食提供回数（年間）	献立に祝祭日や季節感を取り入れるなど、お楽しみ食のメニューを充実させることで、患者さんへ憩いのひと時を提供し、患者さんの視点に立ったサービスを提供しています。

荏原病院 クリニカルインディケーター

9 看護に関する指標						
指標項目	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	定義、指標計算方法等	説明コメント	
褥瘡発生率		0.73 %	0.89 %	[院内褥瘡発生数 / (当月の新入院患者数+前月終日在患者数)] × 100	褥瘡とは、長時間の圧迫などにより皮膚が循環障害を起こし傷となる。いわゆる「床ずれ」の状態をいいます。当院では、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士など様々な職種により構成される褥瘡対策チームが中心となり治療・ケアをして褥瘡発生防止に努めています。この褥瘡発生率は看護ケアの評価の重要な指標とされています。	
常勤看護師の離職率	14 %	13 %	14 %	常勤看護師離職率＝当該年度総退職者数/当該年度の平均職員数×100 平均職員数＝(年度当初の在籍職員数+年度末の在籍職員数)÷2 ※常勤看護師離職率には、新卒者の離職も含む ※離職には定年退職を含む。	看護師離職率が低いことは、病院に慣れた看護師により安定的かつ質の高い看護が提供されているとともに、看護師にとっても働きやすい環境であることを表しています。	
患者・家族のケア満足度	83.8 %	86.0 %	86.2 %	患者満足度調査における入院・外来（平均）のケア満足度	入院、外来の患者さんに当院の看護師の対応についてアンケートを行った際に、「十分」、「ほぼ十分」と答えた方の割合です。今後も高いケア満足度を目指して医療サービスの向上を図ってまいります。	
10 医療安全に関する指標						
指標項目	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	定義、指標計算方法等	説明コメント	
転倒・転落率	0.2 %	0.2 %	0.2 %	インシデント・アクシデントレポートが提出された転倒・転落件数÷期間中の入院述べ患者数×100	入院している患者さんの中には年齢や病気の影響により、転倒したり、ベッドなどから転落したりする可能性が高い方もいます。転倒・転落の原因や要因について分析等を行い、予防策を講じて、転倒・転落を防いでいます。	
● 転倒・転落による損傷発生件数	8 件	6 件	4 件		転倒・転落により公社インシデント・アクシデント分類の3b以上（濃厚な処置を要した、例えばバイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院日数の延長、骨折など）の発生件数	患者さんごとに転倒・転落のリスクを把握し、療養環境の整備や安全物品の活用などの予防策を講じて安全安心な医療を提供しています。
医療安全研修 情報セキュリティ研修	医療安全 16 回 情報セキュリティ 3 回	医療安全 15 回 情報セキュリティ 4 回	医療安全 20 回 情報セキュリティ 16 回	年度内の開催実績数	職員の医療安全意識の向上を図るとともに、病院全体の医療安全を向上させることを目的とし、医療安全研修や情報セキュリティに関する研修を実施しています。	
11 地域連携に関する指標						
指標項目	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	定義、指標計算方法等	説明コメント	
紹介・逆紹介患者率	紹介率 62.0 % 逆紹介率 47.3 %	紹介率 60.5 % 逆紹介率 46.2 %	紹介率 62.2 % 逆紹介率 48.5 %	地域医療支援病院の紹介率、逆紹介率 ・紹介率 (紹介患者数+救急患者数/初診患者数) × 100 ・逆紹介率 (逆紹介患者数/初診患者数) × 100	他の病院または診療所から紹介状により紹介された人の割合（紹介率）及び当院から他の病院または診療所に紹介した人の割合（逆紹介率）です。当院は地域医療支援病院に指定されており、そのための要件の1つにもなっています。今後も地域で信頼される病院作りに努めていきます。	
地域連携バス実施数	0 人 1 回	0 人 1 回	0 人 2 回	地域連携バスごとの使用患者数	患者さんの病気の回復過程に応じて、急性期・回復期・維持期・在宅療養における治療と必要な情報が切れ目なく推進するための診療計画を作成し、治療を受けるすべての医療機関で共有して用いています。診療にあたる複数の医療機関が、役割分担を説明、あらかじめ診療内容を患者に提示、説明することにより、患者さんが安心して医療を受けることができるよう努めています。	
医療従事者等研修会開催数、 広報誌発行部数	研修会 36 回 広報誌 2,200 部/回	研修会 38 回 広報誌 2,200 部	研修会 50 回 広報誌 2,200 部	医療従事者を対象とした研修会等の開催件数、 広報誌（病院だより、医師アポイント）発行部数	地域の中核病院として、地域の医療機関への情報提供等を積極的に実施しています。	
連携医数、高額医療機器の共同 利用件数	1,725 人 4,198 件	1,744 人 4,248 件	1,819 人 4,139 件	連携医数、主な高額医療機器（MRI、CT、RI）の共同利用件数	連携医として登録をしている地域の医師、歯科医師の数及びMRI、CT、RIなどの高額医療機器を連携医と共同で利用した件数です。地域医療支援病院として地域との連携強化を引き続き図ってまいります。	
12 医療サービスに関する指標						
指標項目	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	定義、指標計算方法等	説明コメント	
患者満足度	入院 90.0 % 外来 78.1 %	入院 90.6 % 外来 76.2 %	入院 92.9 % 外来 76.4 %		「あなたは全体としてこの病院に満足していますか。」という問いに対し「満足」「ほぼ満足」と回答した割合（入院・外来）	当院が提供する医療サービスに対して、患者さんがどのように感じているかを把握し、その結果を反映していくことで、医療サービスの一層の充実を図るために実施しています。引き続き、高い患者満足度を維持・向上できるように努めてまいります。
13 医師・看護師・コメディカルの資格等に関する指標						
指標項目	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	定義、指標計算方法等	説明コメント	
資格認定医師、専門医師数				調査時点の人数(常勤職員+月16日以上勤務非常勤)	当院には各学会等で認定された、高度な知識や技術、経験を持った職員がいます。より質の高い医療サービス提供のため、多くの職員が認定を取得していただく、人材の育成に取り組んでいます。	
認定看護師数				調査時点の人数(常勤職員)		
コメディカル部門の認定者・ 専門者数(放射線、検査、薬剤、栄養)				調査時点の人数(常勤職員)		

荏原病院 クリニカルインディケーター

14 当院の特色ある医療の指標						
指標項目		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	定義、指標計算方法等	説明コメント
●	SCU病床の入院患者数	300 人	265 人	282 人	SCU病床の病床別入院患者数	「脳卒中専門病棟 (SCU)」を備えた「総合脳卒中センター」において、神経内科・脳神経外科・リハビリテーション科・放射線科の各科医師を中心とし、専門看護スタッフ、専任ソーシャルワーカーなどによる医療チームを編成し、脳卒中患者さんに対する高度専門医療を行っています。SCU病床での、入院患者実績です。
	t-PA投与患者数	11 人	6 人	6 人	t-PA投与患者数	t-PAは血管内の血のかたまり（血栓といいますが）を溶かす薬剤です。血栓による脳梗塞が起きた直後にt-PAで治療をすると症状が良くなることが多いと言われています。この実施件数は、脳梗塞に対する緊急治療を積極的にやっているかどうかの目安になります。
	リハビリテーション件数	入院 40,227 外来 1,644 件	入院 37,768 外来 1,720 件	入院 41,338 外来 2,273 件	リハビリテーション延べ件数	発症後早期の脳血管疾患を中心とした急性期や亜急性期の患者さんに対して専門的リハビリテーション医療を提供しています。
●	高気圧酸素治療の疾病別患者数	総数 577 突発性難聴 179 骨髄炎、放射線性壊死 115 抹消循環障害 62 腎臓神経疾患 62 減圧症 59 急性一酸化炭素中毒 22 膵閉塞 21 人	総数 690 突発性難聴 224 骨髄炎、放射線性壊死 119 抹消循環障害 80 腎臓神経疾患 86 減圧症 85 急性一酸化炭素中毒 22 膵閉塞 26 人	総数 613 突発性難聴 187 骨髄炎、放射線性壊死 129 腎臓神経疾患 112 減圧症 73 末梢循環障害 32 急性一酸化炭素中毒 17 膵閉塞 10 人	高気圧酸素治療の主要疾病別患者数	高気圧酸素治療とは、通常の気圧より高い圧力環境のもとで酸素を吸入することで、血液中にたくさんの酸素を溶かし体内の酸素濃度を上げる治療です。体内の酸素濃度を上昇させること、高い圧力を体にかけることで、様々な効果が得られます。当院の高気圧酸素治療での、疾病別の患者実績です。
●	分娩数	396 件	470 件	503 件	分娩件数	当院ではできるだけ自然な分娩を推奨しています。妊娠健診は医師だけではなく助産師による健診も行い、分娩までの過程には小児科医や栄養士などと協力しチーム医療に取り組んでいます。

●：病院独自指標

1 疾病別患者数

単位:人

ICD10分類(大分類)		平成23年度	平成24年度	平成25年度
全体		6,786	8,023	7,865
A00-B99	感染症および寄生虫症	284	347	342
C00-D48	新生物	1,405	1,502	1,313
D50-D89	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	50	45	29
E00-E90	内分泌,栄養および代謝疾患	139	111	128
F00-F99	精神および行動の障害	29	358	344
G00-G99	神経系の疾患	353	420	329
H00-H59	眼および付属器の疾患	737	785	569
H60-H95	耳および乳様突起の疾患	250	316	234
I00-I99	循環器系の疾患	704	796	701
J00-J99	呼吸器系の疾患	777	808	716
K00-K93	消化器系の疾患	789	864	947
L00-L99	皮膚および皮下組織の疾患	85	104	73
M00-M99	筋骨格系および結合組織の疾患	173	212	312
N00-N99	尿路性器系の疾患	326	307	300
O00-O99	妊娠,分娩および産じょく<褥>	111	264	597
P00-P96	周産期に発生した病態	41	60	87
Q00-Q99	先天奇形,変形および染色体異常	32	31	33
R00-R99	症状,徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	25	91	167
S00-T98	損傷,中毒およびその他の外因の影響	476	602	617
V00-Y98	傷病および死亡の外因	0	0	0
Z00-Z99	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	0	0	27

2 疾患別平均在院日数

単位:日

ICD10分類(大分類)		平成23年度	平成24年度	平成25年度
全体		16	15	15
A00-B99	感染症および寄生虫症	13	12	11
C00-D48	新生物	15	14	17
D50-D89	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	16	18	21
E00-E90	内分泌,栄養および代謝疾患	17	19	18
F00-F99	精神および行動の障害	47	26	26
G00-G99	神経系の疾患	23	18	28
H00-H59	眼および付属器の疾患	5	5	4
H60-H95	耳および乳様突起の疾患	12	12	11
I00-I99	循環器系の疾患	29	22	24
J00-J99	呼吸器系の疾患	17	16	18
K00-K93	消化器系の疾患	12	10	10
L00-L99	皮膚および皮下組織の疾患	13	14	12
M00-M99	筋骨格系および結合組織の疾患	36	28	32
N00-N99	尿路性器系の疾患	10	9	9
O00-O99	妊娠,分娩および産じょく<褥>	14	9	8
P00-P96	周産期に発生した病態	5	8	7
Q00-Q99	先天奇形,変形および染色体異常	7	8	12
R00-R99	症状,徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5	17	14
S00-T98	損傷,中毒およびその他の外因の影響	27	24	23
V00-Y98	傷病および死亡の外因	-	-	-
Z00-Z99	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	-	-	8

3 悪性新生物部位別・患者割合・手術件数

ICD10分類(大分類)	平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	患者数(人)	手術件数(件)	患者数(人)	手術件数(件)	患者数(人)	手術件数(件)
(1) 胃がん 胃の悪性新生物ほか C16.D002	73	44	80	41	72	35
(2) 大腸がん 結腸の悪性新生物,直腸S状結腸移行部の悪性新生物ほか C18.C200.C269.C785.D010.C19~21.C775.D011~014	326	96	360	108	304	106
(3) 肺がん 気管の悪性新生物,気管支及び肺の悪性新生物ほか C33.C34.C780.D021~022.D024	110	24	149	28	172	43
(4) 乳がん 乳房の悪性新生物 C50.D05	80	52	130	75	125	64
(5) 前立腺がん 前立腺の悪性新生物 C61.D637.D075	140	14	82	12	65	4
(6) 肝がん 肝及び肝内胆管の悪性新生物 C22.C23~24.C787.D015.D376	91	58	97	70	84	58
(7) その他 その他(上記(1)~(6)以外)	300	118	550	397	521	388
合計	1,120	406	1,448	731	1,343	698

手術件数及び診療科別内訳(手術室)

区分	平成23年	平成24年	平成25年
合計	3,241	3,566	3,158
内科	76	87	34
小児科	2	2	2
外科	634	601	503
乳腺外科	92	136	82
整形外科	393	459	569
リハビリ科	2	0	0
脳神経外科	273	260	181
形成外科	189	221	272
皮膚科	5	1	0
泌尿器科	147	159	99
産婦人科	345	373	465
眼科	870	935	605
耳鼻咽喉科	188	313	302
歯科口腔外科	7	4	37
放射線科	1	0	0
麻酔科	0	0	0
神経内科	10	10	5
感染症内科	3	1	0
精神科	4	4	2

診療科別主な疾患及び診療(手術等)実績(平成25年実績)

内科		単位:件	循環器内科		単位:件
		平成25年度			平成25年度
肺炎		187	心不全		70
大腸ポリープ		135	狭心症		42
肺癌		99	肺炎		18
腸炎		35	心筋虚血		18
糖尿病		32	心筋梗塞		13
代表的 手術	内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術	119	代表的 手術	経皮的冠動脈ステント留置術	38
	内視鏡的胆道ステント留置術	31		ペースメーカー移植術	13
	内視鏡的大腸ポリープ切除術	23		ペースメーカー交換術	11
	内視鏡的乳頭切開術	21		経皮的冠動脈形成術	5
	胃瘻増設術(経皮的内視鏡下胃瘻増設術を含む)	18		創傷処理	4
			四肢の血管拡張術・血栓除去術	4	

神経内科		平成25年度	精神科		平成25年度
脳梗塞		126	統合失調症		143
パーキンソン病		48	認知症		37
脳塞栓症		37	睡眠時無呼吸症候群		33
多発性硬化症		14	双極性感情障害		17
肺炎		13	適応障害		15
代表的 手術	胃瘻増設術(経皮的内視鏡下胃瘻増設術を含む)	25	ECT(電気けいれん療法)		415
	鼓膜切開術	4			
	創傷処理	2			

小児科		平成25年度	乳腺外科		平成25年度
肺炎		83	乳癌		126
気管支喘息		31	骨腫瘍		3
痙攣		30	肝癌		1
新生児黄疸		29	乳腺線維腺腫		1
食物アレルギー		28	腹膜炎		1
			嘔吐症		1
			好中球減少症		1
代表的 手術	骨折観血的手術	136	代表的 手術	乳腺悪性腫瘍手術	62
	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む)	129		乳腺腫瘍摘出術	6
	骨内異物(挿入物を含む)除去術	87		皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外)	2
	関節脱臼非観血的整復術	76		創傷処理	2
	骨折非観血的整復術	52		乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき)	2

外科		平成25年度
S状結腸癌		80
鼠径ヘルニア		67
虫垂炎		62
肝癌		56
上行結腸癌		50
代表的手術		
食道	食道狭窄拡張術	7
	食道悪性腫瘍手術(消化管再建手術を併施するもの)	5
	内視鏡的食道粘膜切除術	1
胃、十二指腸	胃切除術	9
	胃瘻増設術(経皮的内視鏡下胃瘻増設術を含む)	5
	内視鏡的消化管止血術	4
指腸	胃全摘術	4
	胃縫合術(大網充填術又は被覆術を含む)	4
	内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術	37
空腸、回腸、盲腸、虫垂、結腸	結腸切除術	34
	腹腔鏡下虫垂切除術	25
	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	14
直腸、校門、その周辺	人工肛門増設術	10
	虫垂切除術	10
	痔核手術(脱肛を含む)	17
肝	肛門周囲膿瘍切開術	15
	直腸切除・切断術	11
	腹腔鏡下直腸切除・切断術	6
胆	痔瘻根治手術	4
	肝切除術	18
	経皮的肝膿瘍ドレナージ術	2
膵	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として)	2
	腹腔鏡下胆嚢摘出術	53
	内視鏡的乳頭切開術	20
気管支、肺、縦隔、胸腔、胸膜	内視鏡的胆道ステント留置術	18
	胆嚢摘出術	15
	胆管外瘻造設術	13
その他	膵頭部腫瘍切除術	8
	膵体尾部腫瘍切除術	4
	膵中央切除術	1
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術	胸腔鏡下肺切除術	11
	肺悪性腫瘍手術	6
	胸腔鏡下試験開胸術	2
試験開胸術	試験開胸術	1
	胸腔鏡下醗膿胸膜又は胸膜胼胝切除術	1
	ヘルニア手術	78
創傷処理	創傷処理	18
	中心静脈栄養用植込型カテーテル設置	16
	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管)	16
抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用埋込型カテーテル設置	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用埋込型カテーテル設置	12

脳神経外科		平成25年度
慢性硬膜下血腫		27
内頸動脈狭窄症		25
くも膜下出血		25
脳出血		18
未破裂脳動脈瘤		16
代表的手術	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	36
	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む)	25
	頭蓋内腫瘍摘出術	17

形成外科		平成25年度
骨折		12
唇顎口蓋裂		10
パジェット病		3
血管腫		3
漏斗胸		2
下顎前突症		2
眼窩底骨折		2
代表的手術	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部)	277
	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外)	152
	皮膚切開術	59
	創傷処理	37
眼瞼下垂症手術		19

泌尿器科		平成25年度
前立腺癌		64
膀胱癌		35
腎盂腎炎		13
前立腺肥大症		12
尿管結石症		12
代表的手術	膀胱悪性腫瘍手術	26
	経尿道的尿管ステント抜去術	24
	経尿道的尿路結石除去術	14
	経尿道的前立腺手術	12
経尿道的尿管ステント留置術		11

皮膚科		平成25年度
带状疱疹		56
蜂巣炎		11
神経痛		8
中毒疹		7
薬疹		6
代表的 手術	皮膚切開術	44
	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外)	37
	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部)	25
	皮膚悪性腫瘍切除術	4
	陥入爪手術	2

産婦人科		平成25年度
分娩件数		503
子宮筋腫		83
卵巣のう腫		48
子宮内膜ポリープ		34
子宮頸部高度異形成		21
子宮体癌		19
代表的 手術	子宮附属器腫瘍摘出術(両側)(腹腔鏡によるもの)	71
	帝王切開術	71
	子宮頸管ポリープ切除術	56
	腹腔鏡下子宮筋腫摘出(核出)術	50
	子宮鏡下有茎粘膜下筋腫切出術、子宮内膜ポリープ切除術	40

眼科		平成25年度
白内障		432
黄斑変性		72
黄斑浮腫		22
網膜前膜		9
裂孔原性網膜剥離		5
代表的 手術	水晶体再建術	547
	硝子体注射	97
	後発白内障切開術	93
	硝子体切除術	38
	網膜光凝固術	34

耳鼻咽喉科		平成25年度
突発性難聴		152
副鼻腔炎		45
扁桃炎		39
メニエール病		24
めまい		17
代表的 手術	口蓋扁桃手術	72
	鼓膜切開術	61
	下甲介粘膜レーザー焼灼術(両側)	56
	粘膜下下鼻甲介骨切除術	41
	汎副鼻腔根治手術	40

リハビリテーション科		平成25年度
脳梗塞		43
廃用症候群		39
骨折		28
脳出血		27
変形性膝関節症		15

歯科口腔外科		平成25年度
入院	埋伏歯、歯周疾患など抜歯を伴う疾患	63
	硬組織疾患	50
	蜂窩織炎	10
	腫瘍(良性、悪性)	9
	顎骨骨折	5
外来	睡眠時無呼吸症候群患者に対するマウスピースによる対応	47
	静脈麻酔を用いた歯科恐怖症・嘔吐反射亢進患者・障害者	122
	インプラント症例	15
	摂食・嚥下リハビリテーション症例	88
	抜歯手術	13
手術室における 代表的 手術	骨折	6
	良性腫瘍摘出術	5
	顎骨嚢胞摘出術	5
	インプラント関連手術	3

感染症内科		平成25年度
肺炎		25
腸炎		19
尿路感染症		9
インフルエンザ		7
胃腸炎		7

●院内がん登録とは

「がん登録」とは、がんの罹患や転帰その他の状況を登録・把握し、分析する仕組みであり、がん罹患数・罹患率、がん生存率、治療効果の把握など、がん対策の基本となるデータの把握のために必要なものです。この調査を複数の病院が同じ方法で行うことで、その情報を比べることができるようになり、病院ごとの特徴や問題点が明らかになるものと期待されています。

●登録対象

登録対象は新規の診断症例または他院で診断された初診症例であり、入院患者および外来患者を対象としています。1腫瘍・1登録の原則に基づき同一患者に別のがん腫と判断されるがんが生じた場合には腫瘍毎の登録（複数登録）となります。

●実績(平成24年実績)

1 全登録数及び東京都がん診療連携協力病院における部位別件数(再掲)【単位：件】

区分	件数
全登録数	660
肺がん	65
胃がん	51
(再掲) 大腸がん	107
肝がん	19
乳がん	68
前立腺がん	124

2 東京都がん診療連携協力病院における6部位の治療前UICCステージ割合及び件数【単位：件、%】

区分	0期	I期	II期	III期	IV期	不明
肺がん	1	27	9	14	13	1
	2%	42%	14%	22%	20%	2%
胃がん	0	25	6	3	9	8
	0%	49%	12%	6%	18%	16%
大腸がん	9	33	32	11	15	7
	8%	31%	30%	10%	14%	7%
肝がん	0	9	1	3	0	6
	0%	47%	5%	16%	0%	32%
乳がん	6	43	15	2	1	1
	9%	63%	22%	3%	1%	1%
前立腺がん	0	1	87	14	14	8
	0%	1%	70%	11%	11%	6%

上段：件数（件）、下段：割合（%）

3 東京都がん診療連携協力病院における6部位の治療別割合別治療方法割合及び件数【単位：件、％】

区分	手術のみ	内視鏡のみ	手術 +内視鏡	放射線治 療のみ	薬物療法 のみ	放射線 +薬物	薬物 +その他	手術/内視 鏡+放射 線	手術/内視 鏡+薬物	手術/内視 鏡+その 他	手術/内視 鏡+放射線 +薬物	他の組み 合わせ	※初回治 療なし
肺がん	11	1	1	6	3	3	0	0	1	1	0	1	37
	17%	2%	2%	9%	5%	5%	0%	0%	2%	2%	0%	2%	57%
胃がん	22	0	0	0	4	0	1	0	6	0	0	0	18
	43%	0%	0%	0%	8%	0%	2%	0%	12%	0%	0%	0%	35%
大腸がん	39	20	1	0	0	0	0	0	15	0	0	1	31
	36%	19%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	14%	0%	0%	1%	29%
肝がん	1	0	0	0	1	0	2	0	0	1	0	4	10
	5%	0%	0%	0%	5%	0%	11%	0%	0%	5%	0%	21%	53%
乳がん	32	0	0	1	1	0	0	6	8	2	6	0	12
	47%	0%	0%	1%	1%	0%	0%	9%	12%	3%	9%	0%	18%
前立腺がん	5	0	0	0	26	1	1	1	0	0	0	2	88
	4%	0%	0%	0%	21%	1%	1%	1%	0%	0%	0%	2%	71%

上段：件数（件）、下段：割合（％）

※ 初回治療とは、治療開始時点で計画された一連の治療のことであり、以下のような場合、「初回治療なし」でカウントする。

- ・当初経過観察が計画されて、病状が悪化したために治療が行われた場合
- ・他施設において、初回治療が計画され、他施設において治療開始後にその一部を当院で施行する場合
- ・腫瘍に影響のない鎮痛剤や制吐剤などの治療
- ・診断後4か月以上経過して、初回治療が開始された場合
- ・初回治療として計画されていても、他院で施行したもの

医師部門の専門者数一覧	
資格名	人数
整形外科専門医	3
皮膚科専門医	1
麻酔科専門医	3
放射線科専門医	3
眼科専門医	1
産婦人科専門医	3
耳鼻咽喉科専門医	1
泌尿器科専門医	1
形成外科専門医	1
病理専門医	1
外科専門医	7
糖尿病専門医	1
肝臓専門医	3
感染症専門医	2
救急科専門医	1
血液専門医	1
循環器専門医	3
消化器病専門医	9
小児科専門医	4
消化器外科専門医	4
脳神経外科専門医	6
リハビリテーション科専門医	3
呼吸器専門医	2
呼吸器外科専門医	1
消化器内視鏡専門医	6
神経内科専門医	8
リウマチ専門医	1
乳腺専門医	1
気管支鏡専門医	1
アレルギー専門医	2
ペインクリニック専門医	2
脳血管内治療専門医	1
一般病院連携精神医学専門医	1
口腔外科専門医	1
総合内科専門医	3
気管食道科専門医	1
認知症専門医	4
脳卒中専門医	7
精神科専門医	5
日本老年精神医学会専門医	1
皮膚腫瘍外科指導専門医	1
日本性機能学会専門医	0

看護部門の認定者・専門者数一覧	
資格名	人数
救急看護認定看護師	
皮膚・排泄ケア認定看護師	1
集中ケア認定看護師	1
緩和ケア認定看護師	
がん化学療法看護認定看護師	
がん性疼痛看護認定看護師	1
感染管理認定看護師	1
糖尿病看護認定看護師	
透析看護認定看護師	
手術看護認定看護師	
乳がん看護認定看護師	
摂食・嚥下障害看護認定看護師	1
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師	1
精神科身体合併症看護認定看護師	1
栄養サポートチーム(NST)専門療法士	
日本糖尿病療養指導士	2
透析技術認定士	1
リンパドレナージ初級	
リンパドレナージ中級	
リンパドレナージ上級	
ACLSインストラクターコース	1
BLSインストラクターコース	4
呼吸療法認定士	4
第1種内視鏡技師	7

コメディカル部門の認定者・専門者数一覧			
所属	資格名	人数	
薬剤科	糖尿病療養指導士	3	
	栄養サポートチーム専門療法士	2	
	がん薬物療法認定薬剤師	1	
	抗菌化学療法認定薬剤師	1	
	感染制御認定薬剤師		
	緩和薬物療法認定薬剤師		
	漢方薬・生薬認定薬剤師	1	
	精神科薬物療法認定薬剤師	1	
	小児薬物療法認定薬剤師	1	
	認定CRC	1	
	認定実務実習指導薬剤師	6	
	診療放射線科	HIV感染症薬物療法認定薬剤師	1
		第1種放射線取扱主任者	1
第2種放射線取扱主任者			
核医学認定技師		1	
放射線治療専門放射線技師		1	
医学物理士		1	
放射線治療品質管理士			
磁気共鳴専門技術者		3	
X線CT専門技師		4	
救急撮影認定技師			
検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師		5	
胃がん検診専門技師			
肺がんCT検診認定技師			
放射線管理士		2	
放射線機器管理士		2	
医用画像情報精度管理士	2		
臨床実習指導教員	2		

コメディカル部門の認定者・専門者数一覧		
所属	資格名	人数
検査科 臨床検査技師	細胞検査士	5
	国際細胞検査士	1
	認定輸血検査技師	
	認定臨床微生物検査技師	
	感染制御認定臨床微生物検査技師	
	認定臨床化学者	
	緊急臨床検査士	2
	日本救急検査技師	
	超音波検査士 (消化器領域、循環器領域、泌尿器領域、体表臓器領域、産婦人科領域、血管領域)	消4 循2 泌 体 産4 血1
	血管診療技師	
	認定心電検査技師	2
	睡眠医療認定検査技師士	4
	聴力検査士	3
	糖尿病療養指導士	4
	栄養サポートチーム(NST)専門療法士	
	電子顕微鏡技術認定士	
	POCTコーディネータ	
医療情報技師		
医療環境管理士		
未病指導士		
2級臨床検査士	14	
特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任	1	
検査科 臨床工学技士	透析技術認定士	3
	体外循環技術認定士	
	3学会合同呼吸療法認定士	2
	高気圧酸素治療装置操作技師	4
	ペースメーカー関連専門臨床工学技士	1
消化器内視鏡技師		
第2種ME技術者	1	
栄養科	日本糖尿病療養指導士	2
	病態栄養専門師	1
	栄養サポートチーム(NST)専門療法士	1
	NSTコーディネーター	
介護支援専門員(ケアマネージャー)		